

3月定例会日程(予定)

2月

27日(木)本会議

- ・開会
- ・会期の決定
- ・諸報告
- ・市長の施政方針演説
- ・全議案の上程
- ・議案説明等

3月

3日(火)本会議

- ・議案に対する質疑
- ・委員会付託等

4日(水)・6日(金) 委員会

- ・総務文教常任委員会
- ・環境産業常任委員会

5日(木)・9日(月)委員会

- ・市民福祉常任委員会
- ・都市建設常任委員会

10日(火)～13日(金)

市政に関する一般質問

18日(水)本会議

- ・各委員長報告
- ・質疑
- ・討論
- ・採決
- ・閉会

※本会議、一般質問は傍聴できます。

※委員会の傍聴をご希望の場合は事前に議会事務局までお問い合わせください。

※開会は原則午前10時です。

※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

※日程は変更になる場合があります。詳しいことは、議会事務局にお問い合わせください。

熊谷市議会事務局

TEL：048-524-1573 (直通)

FAX：048-525-8886

E-mail:gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp

先進地を視察しました
(総務文教常任委員会10月28日・29日)

○川崎市「南部学校給食センター整備事業」

川崎市は、市内に学校給食センターが3カ所あり、3カ所ともPFI手法のBTO方式で整備。安全で衛生的な給食を提供するため、HACCAPの衛生管理手法を取り入れ、徹底した衛生管理をしているとのことでした。

○豊川市「小坂井地区の公共施設再編整備事業」

豊川市は、今後50年間で公共施設の保有面積を30%、年平均トータルコストを43%縮減することを目標としています。計画的な維持保全による長寿命化等を実現するため、公共施設マネジメントを所管する財産管理課に建築技術職を2名配置し、予防保全に取り組みほか、財産管理課で予防保全に係る予算を執行できるようにし、業務量の削減につながったとのことでした。

○豊川市「防災ドローン航空隊」

災害時の被害情報を災害対策本部での確に



床一面に貼られた市内地図とプロジェクターで投影した影画像を重ね合わせて、浸水想定や安全な避難場所について、視覚に訴える手法で、市民への意識啓発を行うとのことでした。

(10/29 豊川市防災センター)

把握するため、4機の防災用ドローンを導入。平時には、総合防災訓練等での訓練状況の撮影、火災の原因調査、台風後の被害調査、遺跡調査、区画整理事業地区調査など、各課の業務に活用しているとのことでした。

○豊川市「防災センター整備事業」

地震等の災害が発生した場合に、災害対策本部機能や各関係機関の拠点機能を備えるとともに、平時には市民が研修および訓練を行える施設として整備。バーチャルリアリティを用いた地震や浸水想定体験や、広い床面とプロジェクターを使って視覚に訴える手法で市民に理解を深めてもらうとのことでした。

トピックス③

第14回夢・未来

熊谷ジュニア議会開催

11月14日、市議会議場において、第14回夢・未来熊谷ジュニア議会が開催され、市内16中学校の2年生32人のジュニア議員全員が1人1問ずつ、一般質問形式で質問を行い、執行部が答弁しました。



真剣に答弁を聴くジュニア議員

今号の表紙

妻沼小学校金管バンドクラブの演奏

第15回熊谷市産業祭の開会式で日頃の練習成果を披露した皆さんは、現在27人のメンバーで週1回活動しており、地域行事にも積極的に参加されているそうです。

編集後記

ここに、市議会だより第58号をお届けいたします。

本号では、本会議の審議の概要や一般質問など、12月定例会での議会の活動や、総務文教常任委員会、議会運営委員会による行政視察の報告等を中心に掲載いたしました。

さて、令和元年10月に発生し、本市にも被害を及ぼした台風第19号は改めて自然災害の脅威を身近に感じさせるとともに、私たちに自助、共助の大切さを痛感させました。

今回の経験を生かし、自然災害による被害を最小限に食い止めるために、市では防災力の強化に努めておりますので、市民の皆様におかれましても、普段から事前の備えを心がけてくださるよう、御協力をお願いします。

これからも、より身近な、そして、わかりやすい市議会だよりを目指してまいります。

議会報編集委員会

◎野澤 久夫 ○小鮎 賢二

桜井くるみ 小林 一貫

林 幸子 石川 広己

鈴木 理裕 影山 琢也

沼上 政幸

(◎委員長 ○副委員長)

